水産振興と漁村環境づくりのご提案

海と港と暮らしが動きだす。

ヤンマー株式会社

活気ある漁業が好きだから、
海とともにある暮らし、いつまでも。

海と、そして漁業にたずさわるみなさまとの長く、深いつながり。
つねに先進技術をもって、“海の産業”とともに歩み続けるヤンマーは、
つくり育てる資源管理型漁業、消費者のニーズに即応した水産物の安定供給、
都市と漁村との交流、安全で快適な暮らしの漁村環境づくりを
積極的に推進しています。
そのキーワードは、「エコロジー」「ヘルシー」「レジャー」。
全国で着々とその成果が現われてきています。

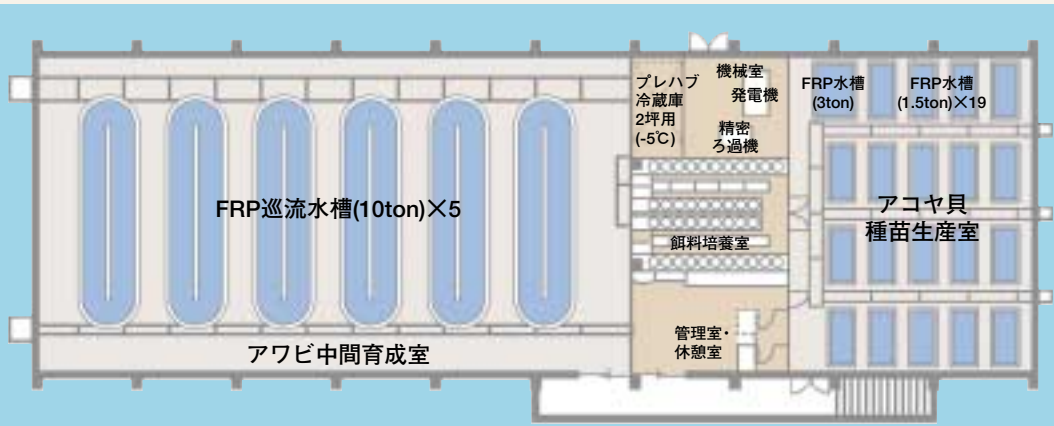
■納入例 水産業の振興と地域の活性化をはかる。

漁業とマリンレジャーが共生する フィッシャリーナ

漁船とプレジャーボートの漁港利用を調整し、さらに海釣り公園や人工ビーチ、水産物販売施設、マンズワーフ、ホテルなどのマリンレジャー施設を整備。集客を促進して漁村地域の活性化、地域振興をはかり、漁業とマリンレジャーの発展をめざす“フィッシャリーナ”です。ボート収容能力は160隻。50フィート艇も昇降できるクレーン、クラブハウスや駐車場も完備されています。

「つくり育てる漁業」を実践する アワビ・アコヤ貝の中間育成施設

アワビやアコヤ貝などの資源減少に対処するため、アワビの中間育成で放流数を増やし、アコヤ貝の母貝づくりを目的に建設された種苗センターです。施設内にはアワビ稚貝用とアコヤ貝種苗用の2系統の飼育設備を併設。24時間体制で、厳密な水管理のもとに飼育水が自動給水され、アワビは水槽6基で約15万個の生産能力があります。



よみがえる漁場、
つくり育てる漁業が拓く活力ある海浜シーン。

近年、200海里の定着によって遠洋漁業が減少し、
水産物自給率の低下が大きな問題となっています。
そのため沿岸の資源を回復して漁場をよみがえらせると同時に、
つくり育てる栽培漁業や養殖漁業を推進し、
活力のある産業として発展させることが必要です。
さらに、漁港内の漁獲の荷揚げや作業の安全効率化、
遊漁船と漁船との分離収容なども欠かせないテーマです。
ヤンマーは漁業生産の基盤である漁場、
漁港の近代化に大きく貢献しています。

漁港・漁場を近代化する。

資源管理型漁業づくり、育てる漁業を推進。

漁港作業の効率を高める。
係留施設

●遊漁船係留用浮桟橋

●漁船係留用浮桟橋

●荷揚げ用浮桟橋

漁獲物の価値を高める。
活魚畜養施設

●活魚備蓄用施設
●活魚展示販売用施設
●活魚競り用施設

漁場を守る。
漁場監視施設

●密漁監視施設
●養殖場監視施設

水産資源を回復する。
増養殖施設

●中間育成施設

●種苗生産施設

●陸上養殖施設

●人工海中林

新鮮な水産物の提供、漁村生活環境の向上で、魅力ある浜づくり。

“海の産業”は漁業だけに限りません。
漁港には水産加工、流通、遊漁船収容、水産物展示販売、飲食・観光など多様な海の産業があり、
それぞれの産業を有機的にむすびつけ、水産業を核とした活性化が地域社会の課題です。
とくに鮮度がブランドともいわれ、衛生面での消費者の関心が高まっているなか、
衛生管理型漁港の整備が急務です。
また、都市部にくらべ立ち遅れている漁村の生活環境の改善も大切なテーマです。
ヤンマーは消費者と漁村のニーズに応え、時代に一歩先駆けた設備と施設を供給しています。

時代のニーズに応える。

消費者ニーズに合致した水産物の安定供給。
安全で快適な漁村地域の形成、都市との交流の促進。

衛生管理に努める。
清浄海水供給施設

●海水取水・ろ過施設

鮮度を維持する。
漁獲物鮮度保持施設

●海水冷却施設
●製氷施設
●冷凍施設

●冷蔵施設

資源ををリサイクルする。
廃棄物処理施設

●生ごみ処理施設
●貝殻処理施設

●脱臭システム

漁村の生活環境を改善する。
漁業集落排水施設

●漁業集落排水処理施設

●紫外線殺菌浄化施設

都市との交流を活性化する。
レジャー関連施設

●釣り堀施設

●イベント向け浮き桟橋施設

排水処理施設

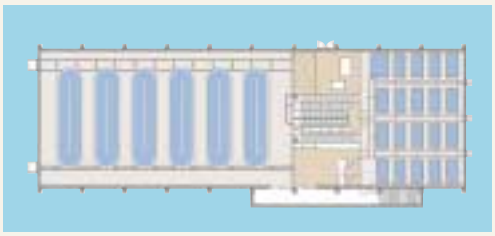
●水産加工排水処理施設

海を知り、地域に根ざしたヤンマーは、
海の産業のさまざまな課題を解決します。

水産業を核とした新しい漁村・漁港づくりを支援するヤンマーは、
各漁港・漁村のニーズに合わせ、水産業の振興と地域の活性化のための事業に数多く貢献。
水産業の振興と地域の活性化をトータルな視点から提案し、
みなさまの事業計画をバックアップしています。

●基本方針
●立地条件分析
●事業計画立案

事業計画



●施設規模計画
●運営計画
●概算予算算出
●現地測量調査

基本設計

●施設詳細設計
●設計予算算出
●経済効果試算

実施設計

試験・調査

●飼育試験
●文献データ調査
●自然環境調査
●先進地視察

施工・監理

●安全管理
●品質管理
●工期管理
●コスト管理

アフターサービス

●幅広い特約店舗網
●定期点検

プランニングから
エンジニアリングまで、
ヤンマーがきめ細かく
お応えします。

ヤンマー株式会社

大阪市北区茶屋町1-32 〒530-8311

環境プラントエンジニアリング部 海洋環境グループ

大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル27F 〒530-0051

TEL(06)6376-6244 FAX(06)6375-2849

販売会社

北海道ヤンマー株式会社

札幌市厚別区厚別東4条4-8-1 〒004-0004 TEL(011)898-8001

東北ヤンマー株式会社

仙台市宮城野区中野字葦畔90-1 〒983-0013 TEL(022)258-3800

ヤンマー東日本株式会社

東京都豊島区南池袋1-11-22山種池袋ビル 〒171-0022 TEL(03)5956-3690

ヤンマー西日本株式会社

尼崎市塚口本町5-3-1 〒661-0001 TEL(06)6428-6622

ヤンマー中四国株式会社

広島市佐伯区隅の浜3-1-31 〒731-5145 TEL(082)923-4111

ヤンマー九州株式会社

福岡市博多区西月隅1-5-8 〒816-0057 TEL(092)441-0111

ヤンマー沖縄株式会社

沖縄県宜野湾市大山7-11-12 〒901-2223 TEL(098)898-3111

■商品についてのご意見、ご質問は下記へ……

⚠ **安全に関するご注意** ●ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。●故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。●水産用途以外でのご使用はご遠慮ください。

●本カタログの仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。●商品の色は印刷物の関係上、実際の色と若干異なることがあります。●商品写真にはオプションを含むことがあります。販売店にご確認ください。

ヤンマーホームページでは、商品のくわしい情報や全国100か所の釣り場の天気をく、分かりやすくお知らせしています。

ヤン坊・マー坊® インターネット天気予報 ホームページアドレス http://www.yanmar.co.jp

R100 古紙配合率100％再生紙を使用しています。

2002年8月作成 0000600E074 0208Ⓝ